

## 治山事業による効果的な流木対策に関する検討会議 第1回検討会議 議事概要

日時：令和5年5月24日（水）13：30～15：30

場所：新潟県自治会館本館 3F 301 会議室

### 【出席委員】

権田座長、西井委員、北原委員、浅野委員

### 【事務局】

応用地質（株）、農林水産部治山課

### 【会議の概要】

- 規約を案のとおり承認
- 権田委員を座長に選任
- 以下について事務局から説明
  - ・検討会議の実施方針（案）
  - ・調査範囲の社会的特性
  - ・調査範囲の自然的特性
  - ・昭和42年羽越豪雨災害及び令和4年8月豪雨災害による荒廃状況
  - ・第2回検討会議の方針（案）
- 主な意見（調査・解析の方針、進め方）

### 【主な意見】

#### 1) 調査・解析の方針について

- 流木の流下・堆積位置や堆積形態、量等についても可能な限り把握して、発生や流下特性を分析し、対策に繋げていく必要がある（浅野委員）
- 既往治山施設による土砂や流木の抑止効果を現地調査で把握することが必要である（権田座長）。
- 森林による流木等抑止効果の検証については、調査を進めながら具体的な分析方法を試行してみるのがよい（権田座長）。
- 溪流毎の諸元をデータベース化する上で、林齢についても追加した方がよい（西井委員）。
- S42 災害と R4 災害では、雨の降り方と森林の状態が異なるとの観点から分析することが必要である（西井委員）。
- 流木が堆積域まで流下した溪流と、発生源や溪流内で留まった溪流との相違点について分析する必要がある（北原委員）。

2)調査・解析の進め方について

○調査や解析を進める中で発生する問題点や課題などについては、適宜委員と情報の共有を図ることとする（権田座長）。

—以上—